



## Fiery Verify

Fiery Verify は、カラーリファレンスと比較したカラー測定値の検証結果を表示します。結果は、カラーリファレンス、サンプル測定値、および許容値設定から計算されます。Fiery Verify では、比較するために許容値設定を編集できます。

### サンプルをカラーリファレンスと比較する

サンプルとリファレンスファイルをロードし、許容値設定を使って比較します。

**メモ：** Fiery Verify は、.txt と.it8 ファイルフォーマットをサポートします。

**メモ：** サンプルとリファレンスファイルには、有効な CGATS データが含まれている必要があります。

- 1 オプション: . ファイル > 新しい比較をクリックして、新しい比較を開始します。
- 2 . 比較 > リファレンスをロードをクリックします。
- 3 ファイルを選択して、開くをクリックします。
- 4 . 比較 > サンプルをロードをクリックします。
- 5 ファイルを選択して、開くをクリックします。
- 6 カラーワークフローに適した許容値設定を選択します。
- 7 オプション: レポートをクリックして、PDF 形式で詳細なレポートを保存します。





## Fiery Verify で検証プリセットを作成する

検証プリセットを作成して、Fiery Verify でカラー検証用に使われるカラーリファレンス、許容値設定、またはパッチセットを変更します。

以下を把握する必要があります。

- カラーリファレンスは、サンプル測定値を比較する対象カラーです。  
**メモ：**GRACoL2013 および FOGRA51 などの業界標準カラースペースは、ほとんどのカラーリファレンス選択肢を含んで構成されています。
- 許容値設定は、カラーリファレンスとサンプル測定の比較に使われる基準です。
- パッチセットは、測定サンプルとして印刷して使用する定義されたカラーパッチのセットです。  
**メモ：**Idealliance Control Wedge 2013、Fogra メディア Wedge V3 および IT8.7/4 などの業界標準パッチセットは、ほとんどのパッチセット選択肢を含んで構成されています。カスタムパッチセットをインポートすることができます。

検証プリセットは、カラーリファレンス、許容値設定、およびパッチセットで構成されています。

- 1 Fiery Verify で、**編集 > 検証プリセットエディター**をクリックします。
- 2 編集する**検証プリセット**を選択します。
- 3  をクリックします。
- 4 オプション:**検証プリセット**で、新しいプリセットの名前を編集します。
- 5 検証するカラープロダクションワークフローに適した**カラーリファレンス**を選択します。
  -  をクリックして、カラーリファレンスをインポートします。  
**メモ：**カラーリファレンスは、カラーが検証されているジョブの印刷に使用するソースカラープロファイルと一致していることが推奨されます。
- 6 検証するカラープロダクションワークフローに適した**許容値設定**を選択します。
  -  をクリックして、新しい許容値設定を作成します。
- 7 検証ワークフローに適した**パッチセット**を選択します。
  -  をクリックして、パッチセットをインポートします。
- 8 **保存**をクリックします。


## Fiery Verify で許容値設定を作成/編集する

許容値設定を作成または編集して、Fiery Verify で比較するために使う基準を指定します。

以下を含むカラーワークフローの許容バリエーション限度を把握します。

- $\Delta E$  式
- 通常の  $\Delta E$  限度
- 原色の  $\Delta E$  限度
- 色相差異の  $\Delta H$  限度
- トーン値の許容限度
- 彩度差異の  $\Delta Ch$  限度
- NPDC の  $\Delta L$  限度
- スポットカラー  $\Delta E$  限度

**メモ：**限度は、条件ごとに計算される許容値範囲を定義します

- 1。編集 > 許容値セットエディターをクリックします。
- 2  をクリックします。
- 3  $\Delta E$  式を選択します。
- 4 必要な許容値基準のチェックボックスを選択します。
- 5 選択されている各基準の限度を入力します。
- 6 警告または失敗を選択して、測定値が指定限度を超えたときに、各基準が示される方法を選択します。
  - 警告は通知のみのため、比較を行えます。
  - 失敗は、すべての比較が失敗する原因となります。
- 7 保存をクリックします。

## サンプル測定値を保存する

検証処理の一部として行われた測定サンプルを .it8 ファイルとして保存します。

測定サンプルは .it8 ファイルとして保存されます。

リファレンスとして使用するため、または比較のために、測定サンプルを保存します。

- 1 Fiery Verify で、比較 > サンプルを保存をクリックします。
- 2 レポートを保存する場所に移動します。
- 3 ファイル名を入力し、保存をクリックします。

## 参照用としてサンプルを保存する

検証プリセットエディターでカラーリファレンスとして使用するために、測定サンプルを保存します。

- 1 Fiery Verify で、比較 > 参照用としてサンプルを保存するをクリックします。
- 2 ファイル名を入力し、保存をクリックします。

## リファレンスをロード

リファレンスファイルを Fiery Verify にロードし、測定サンプルと比較します。

**メモ：**Fiery Verify は、.txt と .it8 ファイルフォーマットをサポートします。

**メモ：**リファレンスファイルには、有効な CGATS データが含まれている必要があります。

- 1 Fiery Verify で、比較 > リファレンスをロードをクリックします。
- 2 ファイルを選択し、開くをクリックします。

## サンプルをロード

サンプルファイルを Fiery Verify にロードし、リファレンスと比較します。


**メモ：**Fiery Verify は、.txt と .it8 ファイルフォーマットをサポートします。

**メモ：**サンプルファイルには、有効な CGATS データが含まれている必要があります。

- 1 Fiery Verify で、比較 > サンプルをロードをクリックします。
- 2 ファイルを選択し、開くをクリックします。

## レポートを保存する

検証比較の詳細を PDF ファイルとして保存します。

- 1 Fiery Verify で
  - 、ファイル > PDF にエクスポート > レポートをクリックするか、  
 をクリックします。
- 2 レポートを保存する場所に移動します。
- 3 保存をクリックします。